

## 国際大ダム会議第 92 回年次例会（インド・ニューデリー）参加募集案内

2024 年 9 月 28 日（土）から 10 月 3 日（木）の 6 日間におたり国際大ダム会議（ICOLD）第 92 回年次例会がインドのニューデリーで開催されます。開催概要は下記の通りです。

年次例会参加希望者は各自でオンライン登録を行っていただきますが、JCOLD 事務局で登録・送金を代行することも可能です。後述の「10. 参加登録手続き方法」に従ってお手続きください。本案内は ICOLD2024 ウェブサイトの情報を基に作成しております。最新の情報はウェブサイトをご確認ください。

ICOLD2024 ウェブサイト：<http://www.icold2024.org/#/home>



### 1. 全体プログラム

会場：International Trade Promotion Organization(ITPO)

月 日	行 事	展示会	関連行事	ワーク ショップ
9 月 28 日 (土)	ICOLD 幹部会 ICOLD 幹部・技術委員長会議 ICOLD 幹部・組織委員会会議		ICOLD 幹部・技術 委員長・組織委 員会夕食会	
9 月 29 日 (日)	技術委員会ワークショップ 若手技術者ワークショップ ポスターセッション	開会式	歓迎会	
9 月 30 日 (月)	技術委員会 若手技術者（YPF）活動 ICOLD 地域会議	終日展示	ヨーロッパクラ ブ会合/ICOLD 幹 部夕食会 日本人会	
10 月 1 日 (火)	国際シンポジウム フランス語圏諸国会議	終日展示	文化行事	
10 月 2 日 (水)	国際シンポジウム エクスカーション	～14:00 展示	若手技術者会合	WS 1,2,3
10 月 3 日 (木)	総会		送別会	WS 4, 5, 6 & 7

## 2. 参加登録料

通貨単位は米ドル（USD, 括弧内換算円）です。

登録料、参加費には別途 18%の税金（GST）が加算されます。

括弧内は円換算 2024年4月11日現在のレートは 1USD=153.99円

	一般 (36歳以上)	若手(35歳以下)、学生	シンポジウム	ワークショップ	同伴者
早割登録（～2024.5.31）	1,350 (207,886)	675 (103,943)	675 (103,943)	675 (103,943)	500 (76,995)
通常登録（2024.6.1以降）	1,500 (230,985)	715 (110,103)	715 (110,103)	715 (110,103)	500 (76,995)
年次例会	●	●			
シンポジウム開会式	●	●	●		●
シンポジウム	●	●	●		
地域会議	●	●			
INCOLD ワークショップ	●	●		●	
技術委員会、技術委員会 WS	●	●			
若手技術者活動		●			
シンポジウム電子論文集	●	●			
技術展示会場入場	●	●	●10/1-2		
コーヒースタンド、昼食	●	●	●10/1-2	●10/2-3	●
歓迎会、送別会	●	●			●
シティツアー					●
文化行事	●	●	●		●
コンgresバッグ(名札含む)	●	●	●	●	

● は登録料に含まれているプログラム等

### 【キャンセルポリシー】

下記期日までにインド大ダム会議事務局にメールにて連絡してください。

2024年8月28日まで： 手数料 USD100(15,399)+GST18%を除き返金

2024年8月29日以降： 返金不可

当会議に登録の代行を依頼された方は期限前日までに当会議にご連絡ください。

### 3. 国際シンポジウム

10月1日（火）及び2日（水）午前にシンポジウムが開催されます。

テーマは以下の通りです。

シンポジウムメインテーマ： **Dams for People, Water, Environment and Development**

人々、水、環境、発展の為のダム

シンポジウムサブテーマ

原文	和訳
<b>Dams and People</b>	<b>ダムと人々</b>
Multiple uses of dams and reservoirs in consideration of water security, flood control and allied benefits	水の安全保障、洪水調節、類似の利益を考慮した多目的ダムと貯水池
Long term impacts of dams on water security and economy of communities	水の安全保障と地域経済に与えるダムの長期的影響
Economic opportunities associated with dams, reservoirs and hydropower plants for local communities	ダム、貯水池、水力発電所がもたらす地域社会への経済効果
Tourism opportunities with dams and reservoirs	ダム・貯水池を利用した観光の可能性
<b>Integrated Reservoir Management (Basin Approach)</b>	<b>貯水池の統合管理（流域アプローチ）</b>
Synchronous operation of multiple dams in the same river basin – flood control, storage optimization, optimization of hydropower generation, etc.	同一河川流域の複数ダムの同期運転 - 洪水調節、貯水量の最適化 水力発電の最適化など
Data Acquisition, Data Sharing, monitoring and decision making for Integrated Reservoir Management.	データの取得、共有、監視及び統合貯水池管理のための意思決定
<b>Dams and Climate Change Adaptation</b>	<b>ダムと気候変動への適応</b>
Adaption measures - Revision in Design flood, Dam hydrology and spillways; Case Studies	適応策 - 設計洪水、水文学、洪水吐の見直しと事例紹介
Optimizing reservoir operation in consideration of water security, protection of communities from flooding, river ecology and addressing conflicting interests of stake holders	水の安全保障、地域社会の洪水からの保護、河川生態系、利害関係者の対立への対処による貯水池運用の最適化
Global guidelines and national approaches	国際的なガイドラインと各国のアプローチ
Occurrences of Extreme events and their causes	異常気象とその原因
<b>Dams and Renewable Energy</b>	<b>ダムと再生可能エネルギー</b>
Economic contribution of dam based renewable energy	再生可能エネルギーを利用したダムの経済的貢献
Pumped storages hydropower	揚水発電
Dam based renewable energy and sustainability	再生可能エネルギーを利用したダムと持続可能性
<b>Dam Engineering and Construction</b>	<b>ダム工学と建設</b>

Advances in analysis and design	解析と設計の進歩
Challenges in construction of dams and their solutions	ダム建設における課題と解決策
Advances in spillways and energy dissipation arrangements	洪水吐と減勢工の進歩
Addressing Challenges related to dam foundations	ダム基礎における課題への取り組み
Roller Compacted Dams	RCC ダム
Tailing Dams	鉱滓ダム
<b>Dam safety management and engineering</b>	<b>ダム安全管理とダム工学</b>
Dams- perceptions and realities of risk	ダム-リスクに対する認識と現実
Risk Informed Dam Safety Management – The Systems Approach	リスクを考慮したダム安全管理 -システムズ・アプローチ
Whether there should be uniform criteria for design of new dams and safety assurance of existing dams - logical issues, benefits, limitations, consequences, etc.Dealing with hazard and risks in the context of developing societies	新規ダムの設計や既存ダムの安全性確保に統一的な基準を設けるべきかどうか - 論理的な問題、利点、限界、結果など 発展途上国での災害と危険への対応
Dam safety real time safety assessment, inspection and monitoring	ダムのリアルタイム安全性評価、検査、監視
Resilient dams for safe communities	安全な地域社会の為のダムの強靱性
<b>Dam Rehabilitation and Improvement</b>	<b>ダムの再開発と改良</b>
Diagnostic analysis and Rehabilitation of aging dams	老朽化したダムの診断解析と改修
Residual life assessment of dams	ダムの余寿命評価
Underwater robotic inspection for health assessment of dams.	ダムの健全性評価のための水中ロボットによる検査
Digital asset management by use of augmented and virtual reality platforms for safety of dams	ダムの安全性を確保するための拡張現実・仮想現実プラットフォームの活用によるデジタル資産管理
Advanced materials for rehabilitation and improvement of dams	ダム改修のための先端材料
<b>Environmental and Social Aspects</b>	<b>環境・社会的側面</b>
Ecological considerations in planning, design, construction and operation of dam and hydropower projects	ダム・水力発電事業の計画、設計、建設、運営における生態系への配慮
Environmental enhancement during heightening and upgradation	ダムの嵩上げや改良工事中の環境配慮の強化
Stakeholder involvement in environment management of dam and hydropower projects	ダム・水力発電事業の環境管理への利害関係者の参画
Sustainable development through dams and	ダムと水力発電による持続可能な開発

hydropower	
<b>Evolving with modern technology for construction of dams</b>	<b>ダム建設における最新技術の進化</b>
Advanced materials for construction of dams	ダム建設に必要な先端材料
Building Information Modelling (BIM) and use of Drones for efficient construction progress monitoring of dams	ビルディング・インフォメーション・モデリング (BIM) とドローンの活用による建設進捗状況のモニタリング
Integration of conventional construction equipment with Robotic technology for building dams in time and cost effective manner	従来の建設機械とロボット技術を統合した時間的・費用的に有利な方法でのダム建設

#### 4. インド大ダム会議ワークショップ

10月2日（水）及び3日（木）にインド大ダム会議ワークショップが開催されます。

トピックスは以下の通りです。

原文	和訳
1. Application of Geosynthetics in Dam Engineering	ダム工学におけるジオシンセティックスの適用
2. Risk Informed Dam Safety Management	リスクを考慮したダム安全管理
3. Tailing Dam Safety	鉱滓ダムの安全性
4. Dam Repairs and Rehabilitation – Deciding Design and Safety Criteria	ダムの補修と復旧 - 設計基準・安全基準の決定
5. Numerical analysis of dams	ダムの数値解析
6. Sedimentation Management in Reservoirs for Sustainable Development	持続可能な開発に向けた貯水池の堆砂管理
7. Pumped hydropower Storage – The need to support high penetration of renewable energy	揚水による水力エネルギーの貯蔵 - 再生可能エネルギーの高い普及をサポートする必要性

#### 5. 技術委員会、技術委員会ワークショップ

技術委員会及び技術委員会ワークショップは下記の日程で開催されます。

参加費は登録料に含まれています。

技術委員会ワークショップ： 9月29日（日） 技術委員以外の方も参加できます。

技術委員会： 9月30日（月） 技術委員以外の方もオブザーバー参加できます。

#### 技術委員会及び日本からの委員一覧

区分	委員会名	氏名	所属
A	ダム解析設計における 計算問題委員会	森 貴信	日本工営株式会社
B	ダム設計における地震問題委員会	佐々木 隆	国土交通省国土技術政策総合研究所

C	ダム水理委員会	酒井 匠	株式会社建設技術研究所
D	コンクリートダム委員会	山口 嘉一	一般財団法人ダム技術センター
E	フィルダム委員会	田頭 秀和	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構
F	水資源計画エンジニアリング委員会	川崎 秀明	一般財団法人ダム技術センター
G	環境委員会	小平 卓	一般財団法人水源地環境センター
		安田 吾郎	株式会社 IHI
		福田 悠太	日本工営株式会社
H	ダム安全委員会	曾田 英揮	独立行政法人水資源機構
HWS	歴史的水利構造物（水利遺産）	井上 一哉	神戸大学大学院
		川崎 秀明	一般財団法人ダム技術センター
I	ダムを取り巻く公衆の安全委員会	佐々原 秀史	独立行政法人水資源機構
J	貯水池堆砂委員会	佐藤 正俊	中部電力株式会社
		角 哲也	京都大学 防災研究所
K	水力発電統合運用委員会	有光 剛	関西電力株式会社
L	鉦滓ダム委員会	(不参加)	
LE	堤防委員会	森 啓年	山口大学工学部
M	ダム運用・維持および補修委員会	新屋 裕生	九州電力株式会社
N	啓発・教育委員会	杉山 弘泰	電源開発株式会社
O	ダム台帳・文書委員会	柏柳 正之	電源開発株式会社
P	セメント混合材料ダム委員会	安田 成夫	一般財団法人ダム技術センター
Q	ダム監視委員会	恒川 明伸	東京電力ホールディングス株式会社
RE	貯水池水没移転委員会	(不参加)	
S	ダムの安全のための洪水評価委員会	水橋 雄太郎	電源開発株式会社
T	ダムの将来見通しと課題委員会	福田 忠弘	日本工営株式会社
TRS	風化熱帯土に関する委員会	(不参加)	
U	ダム及び河川流域の管理委員会	(不参加)	
V	水理機械委員会	山本 浩樹	八千代エンジニアリング株式会社
		安田 吾郎	株式会社 IHI
X	財務・諮問委員会	(不参加)	
Y	地球気候変動とダム委員会	筒井 純一	一般財団法人電力中央研究所
Z	技術者能力向上とダム委員会	(不参加)	
ZA1	エネルギー転換と気候変動におけるダムの役割に関する国際宣言委員会	(不参加)	
ZA2	性別ダイバーシティ&インクルージョン委員会	(不参加)	
ZX2	若手技術者集会	笹木 悠佑	八千代エンジニアリング株式会社

## 6. エクスカーション

会期中にエクスカーションが有料で用意されています。参加料には別途 18%の税金が加算されます。参加するには事前登録が必要です。開催予定のツアーは以下の通りです。

括弧内は円換算 2024年4月10日現在のレートは 1INR= 2.20円

開催日	ツアー名	参加料 別途	詳細
10月2日	SDT-01 アーグラ・ディスカバリー 歴史と遺産を巡る旅	INR 8,000(17,600) 交通費、昼食、施設入場料込み	ホテル～タージマハル、アーグラ城塞 ～21:00 までに デリー着

## 7. プレ・ポストスタディツアー

年次例会に併せてプレ・ポストスタディツアーが有料で用意されています。参加料には別途 18%の税金が加算されます。参加するには事前登録が必要です。開催予定のツアーは以下の通りです。

括弧内は円換算 2024年4月10日現在のレートは 1INR= 2.20円

種類	開催日	ツアー名
プレ ツ ア ー	9月23日 ～28日	<b>PRET01 魅惑のケララ 南インドの楽しみを巡る旅</b> 集合：コーチ 解散：デリー 参加料：未発表
	9月24日 ～28日	<b>PRET02 リーガル・トリート： ゴールドントライアングル - デリー、ジャイプール、アーグラを巡る</b> 行先：デリー ～ ジャイプール ～ アーグラ ～ デリー 参加料：未発表
	9月23日 ～28日	<b>PRET03 海岸の魅力と文化の都： ムンバイ、ゴア、デリー</b> 行先：デリー ～ ムンバイ ～ ゴア ～ デリー 参加料：未発表
	9月25日 ～27日	<b>PRET04 テイリの旅： インドの壮大な水力発電所を発見する旅</b> 行先：デリー ～ リシケーシュ ～ テイリ ～ デリー 参加料：未発表
	9月25日 ～28日	<b>PRET05 Chilla ダムのカリスマ：インドの静謐な水利施設を探る</b> 行先：デリー ～ リシケーシュ ～ ハリドワール ～ デリー 参加料：未発表
	9月27日 ～28日	<b>PRET07 ガンジスの静寂 バラナシでの一泊滞在</b> 行先：デリー ～ バラナシ ～ デリー 参加料：未発表
ポ ス ト ツ ア ー	10月4日 ～6日	<b>POST01 聖なる旅：アヨダヤのスピリチュアル・ハートを探る</b> 行先：デリー ～ アヨダヤ ～ デリー 参加料： シングル：INR62,238(136,924)

	<p>2名参加(シングル2部屋) : INR51,026(112,257)</p> <p>2名参加(ツイン1部屋) : INR34,926(76,837)</p> <p>宿泊費(2泊)、食事、交通費(フライト除く)、現地ガイド、施設入場料、空港出発・到着補助込み</p> <p>デリー、アヨダヤ間は飛行機で移動するため、フライト料金が別途発生します。フライトは各自で予約・インド事務局に依頼、どちらも可能です。料金はエコノミークラス往復でおよそ INR 16,500(36,300)です。</p> <p>10/4 IX1590 10:00 デリー発 11:20 アヨダヤ着</p> <p>10/6 6E 2129 13:45 アヨダヤ発 15:00 デリー着</p>
10月4日 ~6日	<p><b>POST02 テイリ・オデッセイ</b> インドの壮大な水力発電所を発見する</p> <p>行先 : デリー ~ リシケーシュ ~ テイリ ~ デリー</p> <p>参加料 :</p> <p>シングル : INR53,994(118,787)</p> <p>2名参加(シングル2部屋) : INR38,784(85,325)</p> <p>2名参加(ツイン1部屋) : INR28,341(62,350)</p> <p>宿泊費(2泊)、食事、交通費、現地ガイド込み</p>
10月4日 ~6日	<p><b>POST03 Chilla ダムのカリスマ</b> : インドの静謐な水利施設を探る</p> <p>行先 : デリー ~ リシケーシュ ~ デリー</p> <p>参加料 :</p> <p>シングル: INR57,796(127,151)</p> <p>2名参加(シングル2部屋) : INR42,586(93,689)</p> <p>2名参加(ツイン1部屋) : INR30,301(66,662)</p> <p>宿泊費(2泊)、食事、交通費、現地ガイド込み</p>
10月4日 ~5日	<p><b>POST05 ガンジスの静寂</b> バラナシでの一泊滞在</p> <p>行先 : デリー ~ バラナシ ~ デリー</p> <p>参加料 :</p> <p>シングル: INR34,500(75,900)</p> <p>2名参加(シングル2部屋) : INR23,400(51,480)</p> <p>2名参加(ツイン1部屋) : INR19,500(42,900)</p> <p>宿泊費(1泊)、食事、デリー・バラナシでの空港送迎、交通費(フライト除く)、現地ガイド、ボート乗船料込み</p> <p>デリー、バラナシ間は飛行機で移動するため、フライト料金が別途発生します。フライトは各自で予約・インド事務局に依頼、どちらも可能です。料金はエコノミークラス往復でおよそ INR 11,900(26,180)です。</p> <p>10/4 6E-2361 10:55 デリー発 12:05 バラナシ着</p> <p>10/5 6E-2232 15:55 バラナシ発 17:30 デリー着</p>



## 8. 同伴者ツアー

期間中に同伴者向けのツアーが用意されています。ローカルシティツアー参加料は同伴者登録料に含まれています。同伴者プログラムは有料（参加料未発表）にて開催されます。参加するには事前登録が必要です。開催予定のツアーは以下の通りです。

ツアー名
LOCALT-01 ローカルシティツアー： デリー・ハート・ディスカバリー インド工芸を巡る買い物の旅
LOCALT - 02 ローカルシティツアー デリー・ヘリテージ・トレイル オールドデリーの魂を探る
AP01 同伴者プログラム：インドの味 ケバブ体験ワークショップ（半日）
AP02 同伴者プログラム：心、身体、魂のヨガ（7:30～8:30）

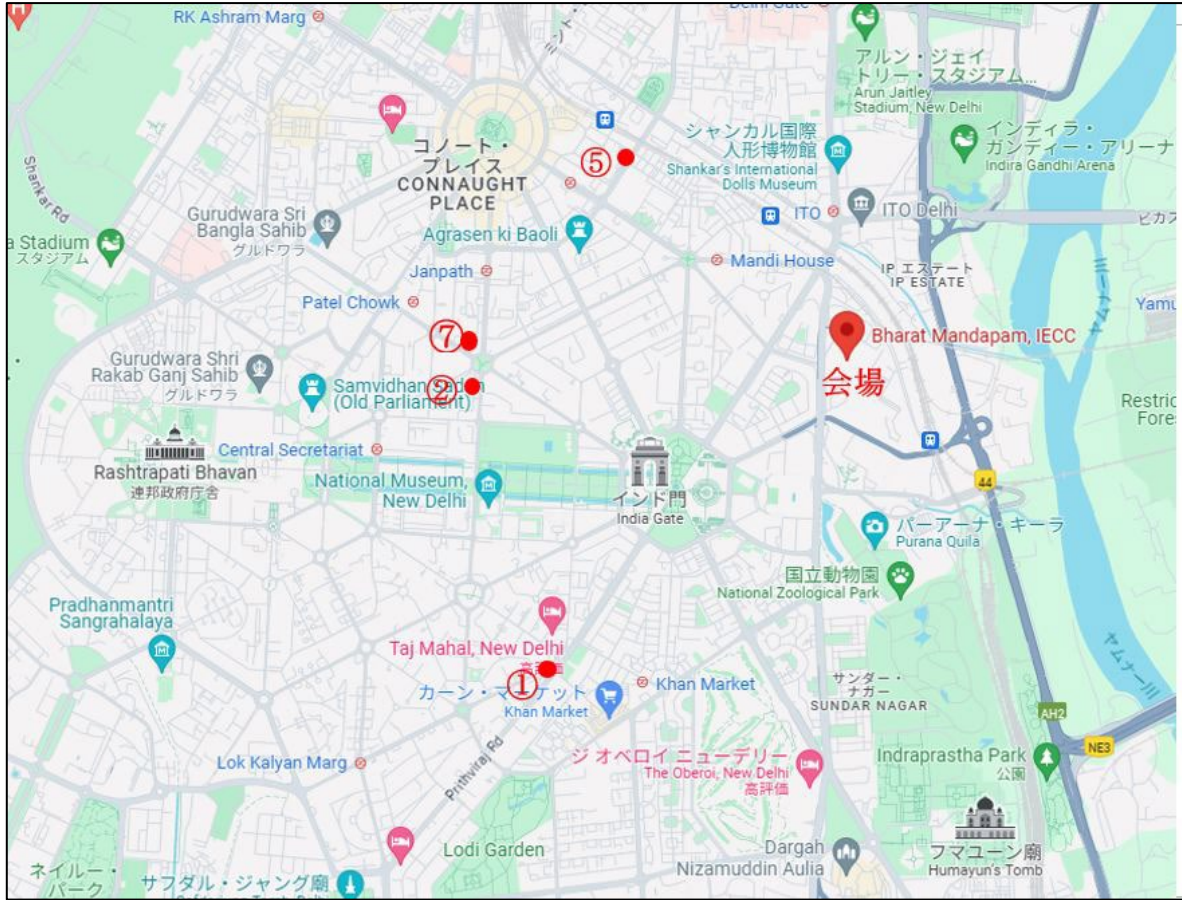
## 9. オフィシャルホテル

以下のホテルがインド大ダム会議の提携旅行会社により用意されています。宿泊料には別途18%のVATが加算されます。いずれのホテルも朝食込みで、朝夕に会場⇄ホテルの送迎バスあります。宿泊料は事前に全額支払う必要があります。

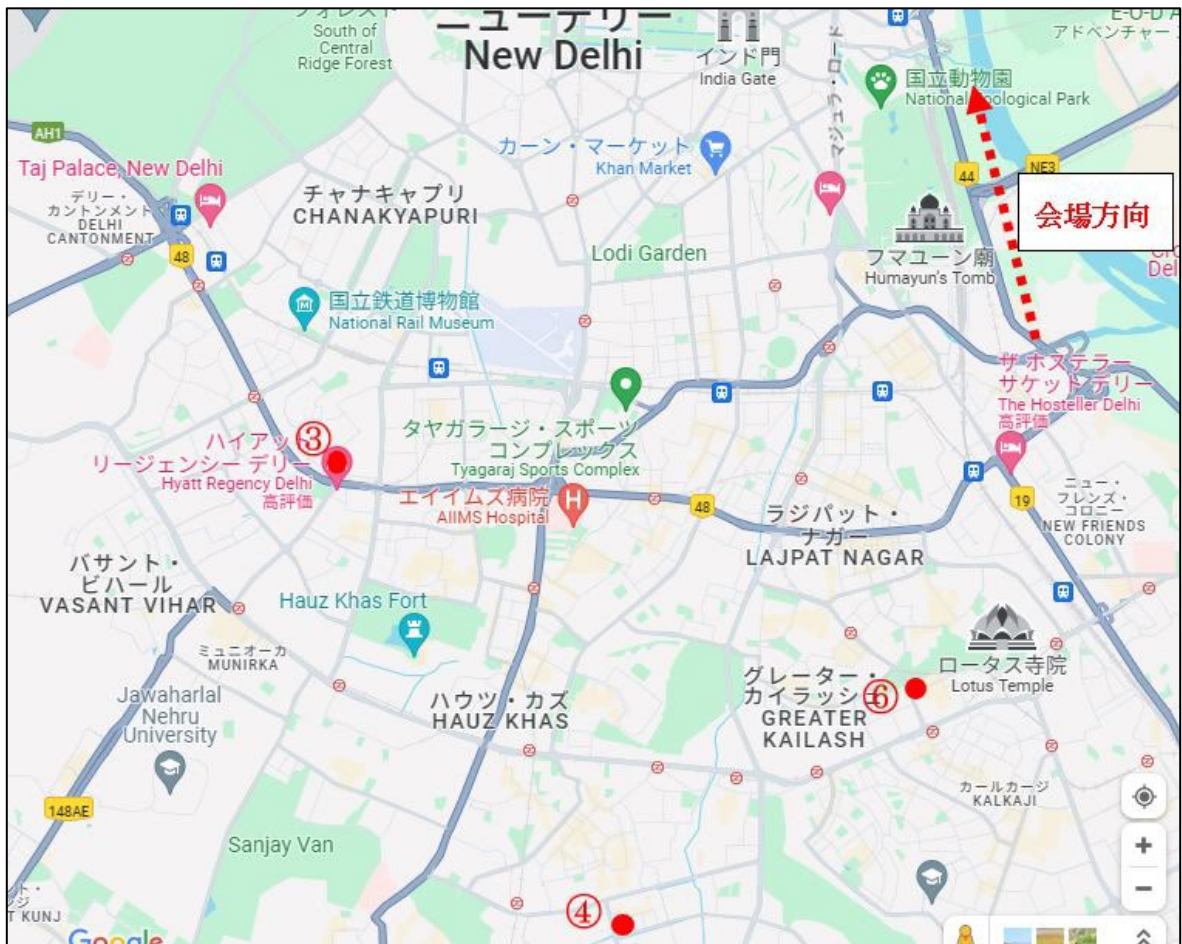
括弧内は円換算 2024年4月10日現在のレートは1INR= 2.20円

ホテル名	シングルルーム 宿泊料/泊	ダブルルーム 宿泊料/泊	会場から の距離	空港から の距離
① Taj Mahal New Delhi タージマハル ニューデリー	INR 16,700 (36,740)	INR 16,700 (36,740)	5 km	19 Km
② Le Méridien New Delhi ル メリディアン ニューデリー	INR 14,000 (30,800)	INR 15,100 (33,220)	4 Km	20 Km
③ Hyatt Regency New Delhi ハイアットリージェンシー ニューデリー	INR 12,700 (27,940)	INR 13,700 (30,140)	12 Km	15 Km
④ <del>Sheraton Saket New Delhi</del> <del>シェラトンサケットニューデリー</del> オフィシャルホテルから外れました。	<del>INR 12,200</del> <del>(26,840)</del>	<del>INR 13,200</del> <del>(29,040)</del>	<del>12.5 Km</del>	<del>22 Km</del>
⑤ The LaLit New Delhi ザ・ラルイト ニューデリー	INR 12,700 (27,940)	INR 13,200 (29,040)	3.5 Km	22 Km
⑥ Eros Hotel New Delhi エロス ホテル ニューデリー	INR 10,450 (22,990)	INR 11,450 (25,190)	10 Km	22 Km
⑦ Royal Plaza New Delhi ロイヤルプラザ ニューデリー	INR 8,400 (18,480)	INR 9,000 (19,800)	4 Km	20 Km

ホテルマップ (会場周辺)



ホテルマップ (会場の南)



## 10. 参加登録手続き方法

年次例会に参加するには ICOLD2024 ウェブサイトでアカウントの開設（参加登録）が必要となります。登録手続きは以下（1）～（3）の3つの方法があります。（2）（3）は JCOLD 事務局が有料にて代行します。

論文投稿者は投稿時にアカウントを開設済みです。ご自身の登録内容はログイン後 My Profile で確認できますので、確認の上必要に応じて修正をお願いします。

「申込フォーム\*」は当会議ウェブサイト <http://jcold.or.jp/j/activity/> よりダウンロードしてください。



### （1） 個人でアカウントを開設し、支払いをする（クレジットカード払い）

① 以下の URL よりアカウント開設及び登録料の支払いを行ってください。

<https://www.icold2024.org/#/registration/registration-tab>

クレジットカード払いの場合、USD63.56(9,788)+税金の手数料が上乘せされます。

アカウント開設サイトに若手技術者登録の選択肢がありませんが、生年月日を入力すると若手登録料が適用されます。

② 各ツアー（ポストツアー、エクスカージョン、同伴者ツアー）及びオフィシャルホテルはアカウント開設時に予約できません。インド大ダム会議提携の旅行会社にメールにて連絡してください。

ツアー： [tours.icold2024@icem.net.in](mailto:tours.icold2024@icem.net.in)

ホテル： [hotels.icold2024@icem.net.in](mailto:hotels.icold2024@icem.net.in)

③ お手続き後、「申込フォーム\*」に必要事項をご記入の上 JCOLD 事務局 (secretariat@jcold.or.jp) まで送付してください。



### （2） 個人でアカウントを開設し、登録料の送金は JCOLD 事務局が代行する

① 以下の URL よりアカウントの開設を行ってください。（（1）①と同じ）

<https://www.icold2024.org/#/registration/registration-tab>

② 「申込フォーム\*」に必要事項をご記入の上、JCOLD 事務局まで送付してください。

③ 登録料は JCOLD がまとめてインド大ダム会議事務局に送金し、後日、送金レートに基づいて円換算した金額を下記登録手数料とともに日本円にて各法人・会社に請求いたします。

### （3） JCOLD 事務局が申込者のアカウントを開設し、登録料の送金を代行する

（注：割引等の特典はありません）

① 「申込フォーム\*」に必要事項をご記入の上、JCOLD 事務局まで送付してください。

② 登録料は JCOLD がまとめてインド大ダム会議事務局に送金し、後日、送金レートに基づいて円換算した金額を下記登録手数料とともに日本円にて各法人・会社に請求いたします。

**登録手数料（アカウント開設料および送金手数料（税込）/名）**

- ・ JCOLD 会員 8,000 円
- ・ JCOLD 非会員 16,000 円
- ・ 同伴者登録手数料は無料

**11. JCOLD 提携旅行会社**

フライト及び宿泊ホテルの手配を旅行会社ブルス・トラベルに依頼される方は、下記担当者に直接お申し付けください。

ブルス・トラベル株式会社

担当： 三浦 辰夫

Email : [miura@bruce-travel.com](mailto:miura@bruce-travel.com)

Tel : 03-3766-8881

以上